

駿河湾・大瀬崎で「大瀬崎みらいにつなぐ債」を発行

～セキュリティトークン事業による不動産収益性向上と持続可能な価値創造を実現～

株式会社レーサム（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小町剛）の100%子会社であるネイチャーイン大瀬館株式会社（本社：静岡県沼津市）は、駿河湾の大瀬崎の自然を守り持続可能な事業を進めるため、セキュリティトークン社債「大瀬崎みらいにつなぐ債」（以下「本商品」）を発行します。

この取り組みは、レーサムグループにとって初めてのセキュリティトークン事業です。本商品を通じて、不動産の収益化の流れを早め、中長期的な資産価値の向上を目指します。

大瀬崎の自然と文化を未来につなぐ

大瀬崎は、日本有数の海洋生物多様性を誇る駿河湾に位置し、684年に創建された大瀬神社を中心に、自然と共に生きる文化が受け継がれてきた場所です。私たちはこの貴重な自然と歴史を守りながら、環境保全と地域経済の活性化を両立させることを目指しています。

プロジェクトのポイント

(1) 不動産の収益化を加速

- ・ダイビングの安全性向上により、国内外の富裕層ダイバーを誘致
- ・自然観察ツアーや参加型イベントを通じた新規収益源の開拓
- ・環境に関心の高い投資家との新たなつながりを構築

(2) 持続可能な価値創造

- ・海洋生物多様性の保全と回復を軸にした事業モデルを構築
- ・世界のプロダイバーや研究機関と連携し国際的な認知度を向上
- ・地域の文化を未来へつなぐ教育・研究プログラムを実施

(3) グループとしてのシナジー

レーサムグループは、不動産事業の収益性を高めながら環境を守る戦略のもと、本プロジェクトで資金調達的手段としてブロックチェーン技術を活用したセキュリティトークンを導入し、次のような効果を目指します。

- ・環境保全と不動産投資を組み合わせ、新たな投資家層を開拓
- ・本件で得られる知見をもとに、他の不動産プロジェクトの迅速な開発・販売につなげる



海況が安定している大瀬崎は一年中ナイトダイビングが可能



赤い屋根がネイチャーイン大瀬館

未来への投資

「大瀬崎みらいにつなぐ債」は、資金調達にとどまらず、駿河湾の豊かな自然を守り、地域社会とともに持続可能な未来を築くプロジェクトです。ネイチャーイン大瀬館の収益を着実に積み上げることで、中長期的な成長の基盤を築きます。今後は親会社の豊富なリソースとネットワークを活用し、国内外での認知度向上にも努めてまいります。

本商品の詳細については、下記 URL よりご覧ください。

www.natureinn.jp/osekanmirai/

<お問い合わせ>

株式会社レーサム 広報担当：宮島

Email: miyajima_yuka@raysum.co.jp

TEL:03- 5157-8880